【本郷中学校　校是】　ともに学び　ともに考え　ともに生きる

ほぼ週刊 輝け とわに 第365号

2024.4.26

〒247-0005　横浜市栄区桂町84-14　TEL：892-2155　FAX：892-9241　横浜市立本郷中学校
ホームページ　https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/hongo/　校　長　湊　浩一

【学校教育目標】　自ら学び　ひととつながり　しなやかに未来を拓く人

【学校スローガン】　あ（挨拶）　せ（清掃）　か（感謝）　け（けじめ）

タフでなければ生きていけない、優しくなければ生きていく資格がない

校　長　湊　浩一

令和４年度の小中高校生の暴力行為が、過去最多の9万5千件という記事を思い出しました。前年度から24.8%増加し、小は6万1455件（千人当たり9.9件）、中は2万9699件（同9.2件）高は4272件（同1.3件）でした。千人当たりの発生件数は小学校が中学校を上回っています。なぜ、そんなことを思い出したかというと、NHKが「プロジェクトX」の番宣として中島みゆきさんの特集を放送していたからです。「世情」が流れると他局のドラマ「３年Ｂ組金八先生」が映し出されました。校内暴力が主題として扱われ、中島さんの歌が使われた回は神回といわれています。腐ったミカンという表現も衝撃的でした。YouTubeで見られるはずです。数年後、尾崎豊さんが歌った「十五の夜」♪盗んだバイクで走り出す♪や、「卒業」♪夜の校舎／窓ガラス壊して回った♪がヒットしました。校内暴力を肯定するような風潮があったように思います。

ドラマを見ていた頃は大学生でしたが、２年後には校内暴力が吹き荒れる教育現場に足を踏み入れることになります。ドラマなら簡単に解決することも、未解決のまま事案だけが積み上がっていきました。それでも学校は楽しかった。やっぱり教員になってよかった。なぜなら、手のかかる生徒は大勢いましたが、それ以上に我々教員を慕ってくれる生徒がたくたんいたからです。

本中生の皆さん、僕は校長として学校は楽しい場所であってほしいと思っています。そのための条件は一つです。学校は誰にとっても安心して豊かに生活できる安全な場所であることです。そのために、どんなことがあっても絶対にあってはならないことが「暴力」です。なかでも心配していることは、言葉（SNS等も含む）による暴力です。学校が楽しい場所であるためには、暴力（言葉の暴力）はどんなことがあってもＮＧ（だめ）です。題名は清水俊二さんが訳した、私立探偵マーロウの言葉です。これを村上春樹さんは次のように訳し直しています。**「厳しい心を持たずに生きのびてはいけない。優しくなれないようなら、生きるに値しない。」**清水さんの訳は格好よくて素敵ですが、村上さんの訳は納得がいきます。生きていくためには思いやりや優しさが必要です。そのためには、自分を律（りつ）する心が必要だとマーロウは云ってるわけです。何度でもいいます。暴力で解決できることは何ひとつありません。ただ、心と身体に深い傷が残るだけです。それは最大の暴力である戦争が証明しています。闘うべき相手は、自分の弱い心なのです。

令和６年４月２９日～５月３日の予定【B】

日	曜	1	2	3	4	昼	5	6	掃	備　考
29	月									昭和の日
30	火	火1	火2	火3	火4	○	火5	総合	○	1年⑥火6
1	水	す1	す2	す3	す4	○	学活	＊	○	
2	木	木1	木2	木3	木4	○	木5	木6	軽	眼科検診　完全下校17時
3	金									憲法記念日